

稲沢厚生病院だより

ginnan

— 銀杏 —

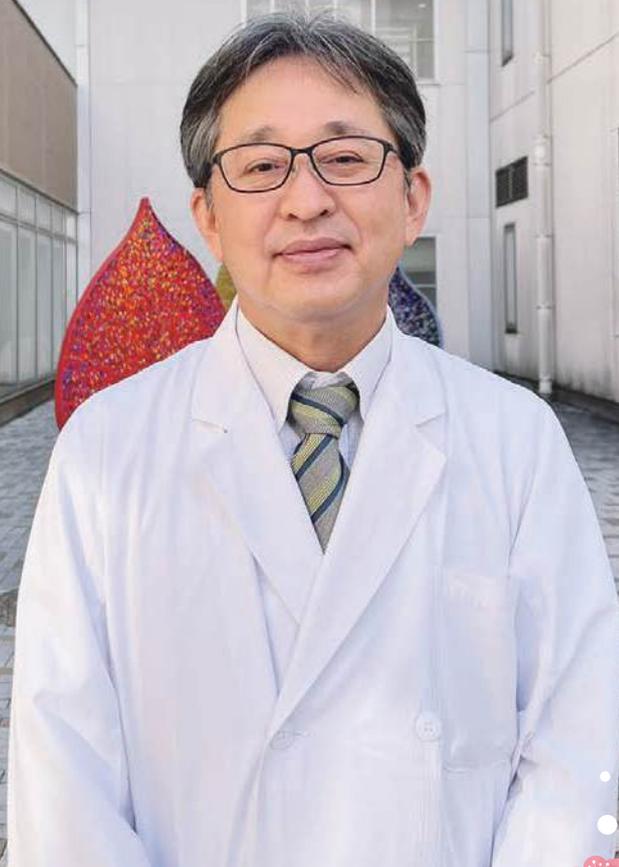
2025

No.102

新年あけまして

おめでとうございませす。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
また、旧年中賜りました
数々のご厚情やご支援に対しまして、
職員一同心より御礼申し上げます。



主な内容

新年のご挨拶 理念・基本方針・患者さんの権利と責任 ginnanコラム 新入職員紹介

過去の広報誌はこちら





新年のご挨拶

昨年は元日より能登半島地震が発生し大変な1年の幕開けとなりました。当院も2日よりDMAT（災害派遣医療チーム）を派遣し活動させて頂きました。半島での発災のため、なかなか復興も進まない中、9月には奥能登豪雨も加わり、困難な状況が依然続いているようです。被災された皆さまには、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を祈念しております。

当地でも、南海トラフ地震が30年以内に70～80%の確立で発生するとされています。改めて、災害の恐ろしさと防災の重要性を感じているところです。当院は地域の「災害拠点病院」に指定されています。職員の防災意識の向上とともに、災害対策の強化にさらに取り組んでいきたいと思えます。

今年2025年です。2025年は「団塊の世代」が全て75歳以上の後期高齢者となり、医療・介護のニーズが急速に高まるとされ、以前より少子高齢化の象徴的な年とされてきました。今後も医療・介護の需要は増加し、2040年代にピークを迎えるとされています。一方、少子化により働き手は不足し、今後多くの医療・介護難民が出現すると危惧されています。このような中においても、当院は今後も「地域密着型病院」として、地域の医療・介護施設等との連携を高め、急性期から回復期、慢性期、さらに在宅へと切れ目なく、良質で安全な医療を地域の皆さまに持続的に提供できるよう努めます。

さて、当院は1945年（昭和20年）11月に祖父江町において「尾西診療所」として誕生しました。その後「尾西病院」としての長い時代を経た後、「稲沢厚生病院」と改名し、おかげさまで今年80周年を迎えることとなりました。これは、多年にわたる地元住民の方々のご理解ご支援を賜物と感謝申し上げます。今年11月には80周年記念祭を開催する予定です。是非、皆さま足を運んで頂けますようお願い申し上げます。

また、6年間不在であった脳神経外科の常勤医が、1月より着任することとなりました。これまで救急等においてご迷惑をおかけしてきましたが、多少改善すると思えますのでよろしくお願い申し上げます。

今後も職員一同が、患者さんを中心に考え良質な医療を提供するため、一人ひとりが役割と責任を自覚して努力していきますので、本年も変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。

院長 伊藤浩一

薬は用法用量を正しく 守ることで、安全に効果を 発揮することができます。

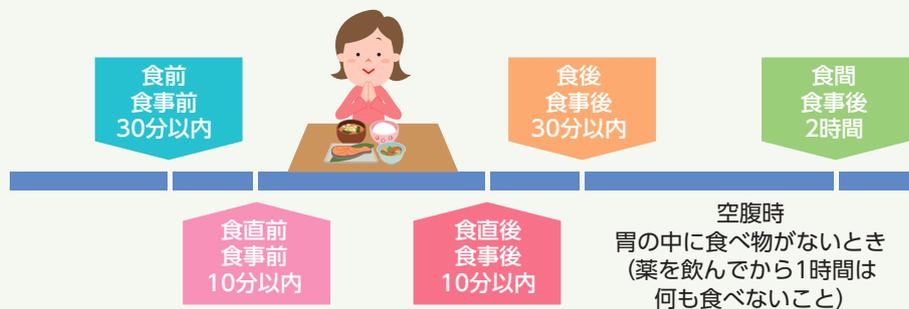
● コップ1杯程度の水、またはぬるま湯で飲むようにしましょう。

水の量が少ないと喉や食道にひっかかってそこにとどまり、あれてしまうことがあります。また、薬の吸収が低下したり吸収が遅れて効き目が悪くなったりします。(ただし、OD錠は水なしで飲むことができます。)

● 薬を飲むタイミングの目安は、下の図を参考にしてください。

食事の影響によって、薬の効果や副作用が強くなったり弱くなったりすることがあります。

逆に、食前でも食後でも効果が変わらない薬もあります。そういった薬では、食事が不規則な場合に等間隔に時間を決めて飲むと良いため、医師・薬剤師に相談しましょう。



● 薬を飲み忘れたとき、2回分をまとめて飲むことは絶対に避けてください。

● 錠剤やカプセルが大きくて飲みにくいときがあると思います。

錠剤を砕いたりカプセルを開封したりしても効果が変わらないものと、錠剤を砕いたりカプセルを開封したりすることができないものがあります。できない理由は、薬の効果がなくなる・副作用が出やすくなるなど薬によって様々です。同じ成分の薬で粉薬、液剤に変更できる場合もあります。

オブラートや服薬ゼリーの使用もおすすめです。一部の薬(ビスホスホネート系の薬(骨粗鬆症の薬)・リベルサス(糖尿病の薬))では使用できないので注意が必要です。

わからないことや不安なことなど、なんでも薬剤師にご相談ください！



悩みにサヨナラ！ 「考えない」技術

臨床心理室 須田 牧子

考えたくないのに嫌な出来事や失敗など、ネガティブな考えや記憶がぐるぐると頭をめぐり気持ちが晴れない、こんな体験をみなさんも一度ならずしたことがあると思います。

ネガティブなことを考え続けるのは、「熱い」と思いながら沸騰したやかんを触り続けて自ら火傷をしにいつているようなもので、他者の気に障る言動や過去の出来事など、考えても解決に至らないことは早めに頭の中から追い出す方が心の健康にとって良いと言えます。

しかし、気づいたらやっぱり考えているというのが人間です。では「考えない」ためにはどうすると良いのでしょうか？

答えは「行動する」です。行動の内容は何でもよく、散歩、カラオケ、読書など趣味のことでも、野菜を切る、掃除機をかけるといった家事でもOKです。



動いた方がいいとわかっているけれどそんな気にはなれない…という場合でも「まずは5分だけ」と決めて、とにかく最初の一步を踏み出してみましよう。

また、せっかく行動をし始めても沸々と思いついたり考えてしまう場合には、「ストップ！」と口ずさんで一旦考えを止めたり、散歩中ならば一步ずつ「1、2、3、…」と数えて“いま取り組んでいること”に集中したり、「今日は魚が食べたい気分だな」「ティッシュがなくなりそうだった、他に買うものあったかな」「肩が凝ってイヤになっちゃうな」など悩みと関連のない独り言を声に出してみることも有効です。

「考えない」技術を練習して、悩み続けないクセを手に入れませんか？

愛知県厚生連理念

私たちは、受ける側の立場に立ち、医療を中心とした活動を通して地域住民の安心感の確保を図るとともに、医療・保健・福祉のあるべき姿を追い求めます。

●●● 稲沢厚生病院として ●●●

理念

私たちは、地域住民の健康と生活を守るために、より良質で安全な医療・保健・福祉を提供すると共に、医療人を育成し、安心できる地域づくりに貢献します。

基本方針

1. 地域における病院の役割を自覚し、皆様に信頼される病院づくりに努めます。
2. 人間性豊かな医療従事者を育成し、医療の質向上に努めます。
3. 誇りと喜びを持って働くことができる職場環境をめざします。
4. 将来にわたり安心できる医療を提供するために、経営の安定化に努めます。

患者さんの権利と責任

1. 人間として人格が尊重され、良質な医療を公平に受けることができます。
2. 病気、検査、治療などについて十分な説明を受けることができ、自分の病名を知る権利があります。理解できないことについては、納得ゆくまで説明を受けることができます。
3. 他の医師の意見を聞くことや、医療機関を自由に選択することができます。
4. 情報提供と説明を受け、自己の責任において診療方法を最終決定することができます。
5. 自分の診療情報の開示を求めることができます。
6. 医療上の個人情報守秘され、プライバシーが保護されます。
7. 正しい診断、治療を受けるために、自身の健康に関する情報を正確に提供してください。
8. 患者さん相互の療養生活のため、病院の規則を守ってください。

新入職員医師紹介



内科

かね こ とも ぶみ
金子 智文

趣味：ゴルフ
抱負：10月から半年間、稲沢厚生病院で働かせていただきます金子智文です。
まだ未熟ではありますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いたします。



脳神経外科

あら き よし お
荒木 芳生

趣味：料理
抱負：地域の皆様のお役に立てればと思っています。
よろしくお願いたします。

11月27日(水)より 診察券のデザインが新しくなりました



病院イメージキャラクター
ぎんちゃんなんちゃん



新デザインに交換希望の方は初診窓口へお申し出ください。

※旧診察券の持参がない場合は発行手数料(100円)をいただきます。